

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	3076	(H.24)No.	5102
-----------	------	-----------	------

事務事業名		文化財保護費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
教育委員会事務局		文化生涯学習室		杉本一徳	63-7892
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	3	市民文化の創造
	施策	2	文化資源
	小施策	1	文化財の保護・調査研究
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	503501
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	文化財保護費	
項	社会教育費	(小事業名)	
目	文化振興費	文化財保護費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>市域に存在し、地域を理解するうえで特に重要な文化財の保護業務。文化財調査会の開催や、市指定文化財の修復補助、文化財指定看板の作成設置、史跡の草刈り等を行っています。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>新たな文化財指定や、指定文化財の維持管理を行っています。指定文化財を良好な形で後世に伝えるとともに、地域のシンボルとして活用を図ります。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	報酬 70千円 旅費 45千円 需用費 159千円 委託料 524千円 使用料 690千円 報償費 65千円 負担金 50千円 役務費 36千円	報酬 154千円 旅費 58千円 需用費 260千円 委託料 1,953千円 使用料 729千円 報償費 50千円 負担金 50千円 委託料の増については、文化財用地の草刈り委託を、昨年度は緊急雇用創出事業で実施したが、今年度は当該事業が終了したので市費に計上したため。	補助金・交付金	その他 ()	
			平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	平成27年度(計画)
			報酬 154千円 旅費 58千円 需用費 260千円 委託料 1,953千円 使用料 729千円 報償費 50千円 負担金 50千円	報酬 154千円 旅費 58千円 需用費 260千円 委託料 1,953千円 使用料 729千円 報償費 50千円 負担金 50千円	報酬 154千円 旅費 58千円 需用費 260千円 委託料 1,953千円 使用料 729千円 報償費 50千円 負担金 50千円
直接事業費	1,639千円	3,254千円	3,254千円	3,254千円	3,254千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0)	1,639	3,254	3,254	3,254
人工数					
職員	0.10人	0.20人	0.20人	0.20人	0.20人
臨時職員等	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
概算人件費	(0千円) 900千円	1,630千円	1,630千円	1,630千円	1,630千円
+ 総事業費	(0千円) 2,539千円	4,884千円	4,884千円	4,884千円	4,884千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	文化財調査会開催数	回	2	2	2	2
	実績						
活動指標	目標	市内指定文化財数	件	75	76	76	76
	実績						
成果指標	目標	名張の歴史を知っている市民の割合	%	-	-	-	42.0
	実績						
				38.4	32.6	33.6	33.2

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
市所有の史跡用地について、草刈り等維持経費を緊急雇用事業で対応するなど、新たな財源確保を行った。	24年度からは市直営の草刈りとなる。新たな事業展開を図るについては、新たな財源を探して確保する必要がある。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
長期的な年次計画に沿って、文化財の多角的な活用を十分に検討して事業展開を図る。	美旗古墳群をはじめとする史跡整備の推進要望がある。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)はの場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	草刈り等の管理経費が大部分を占めているので、事務手法簡略化の検討。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる	文化財保護を目的とした小事業が多く設定され、“小事業の縦割り”によるデメリットが大きいいため文化財保護事業に統合することで解消が可能。
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を行うことができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	年度ごとに創設される国県等の補助制度等。
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	それぞれの地域遺産として文化財の活用が記述されている。
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映済み	蔵持、薦原、錦生、美旗、川西梅が丘、比奈知、名張、赤目
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を行うことができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	〃

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(拡大)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項